

経済倶楽部便り

◆東京◆ 7月に入り、講演会は通常のリアル

形式となり、まずフランス文学者の鹿島茂氏にご登壇頂きました。鹿島氏はバルザックなどの研究で有名ですが、小林一三や洪沢栄一に関する著作もあります。今回は洪沢栄一論でした。

第1回のパリ万博見学とサンシモン主義流の経済学が洪沢に与えた影響などユニークな指摘がありました。9月号に掲載します。12日以降は第4回目の緊急事態宣言期間入りとなり、夏休み前最後の講演会（慶應義塾大学の白井さゆり氏）はオンライン配信を余儀なくされました。

6月の新会員をご紹介します。テクノバ経営

情報調査部部長の藤原康司様、エフ・ユー常務の山下康弘様、みずほリサーチ&テクノロジー会員事業部部長の小池康一様、同会員事業部次長の渡邊信也様です。

9月の講師は学習院大学教授の伊藤元重氏、早稲田大学スポーツ科学学術院教授の岡浩一郎氏、TBSキャスターの星浩氏、東海大学客員教授の長尾年恭氏を予定しています。

◆中部◆ 7月最後の講演会は（一財）日本総研会長の寺島実郎氏でした。民間航空機MRJの挫折を転機に戦後の豊かさ追及の産業構造から国民の安全を担保する産業構造への転換について具体的な事例をあげてご講演頂きました。

9月の講師は時事通信社の山田恵資氏、自動車アナリストの中西孝樹氏です。（日暮良一）